

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010090

政策目標	2 ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	3 母子保健・女性の健康支援の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	母子保健事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	8 保育所	
事業指標	乳幼児健診受診率		12 教育委員会教育振興課	
事業目標	98%	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有	関係例規・法令名	有 母子保健法	
住民協働	事業の利用による児童の発育発達の促進	関係個別計画名	有 次世代育成市町村行動計画	

全 体 計 画 事 業 内 容		平成 25 年度 事 業 内 容	平成 26 年度 事 業 内 容	平成 27 年度 事 業 内 容	平成 28 年度 事 業 内 容	平成 29 年度 事 業 内 容
計 画 内 容	妊娠・出産から子育て中の保護者・児童の健康増進と疾病の早期発見・対応及び育児支援を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・母乳育児相談の実施 ・タッチケア講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・母乳育児相談の実施 ・タッチケア講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・母乳育児相談の実施 ・タッチケア講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・母乳育児相談の実施 ・タッチケア講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付 ・妊婦健診受診券の交付 ・乳幼児健診・健康相談の実施 ・母乳育児相談の実施 ・タッチケア講座の開催
	計 画 事 業 費	事業費(千円)	20,578	4,084	4,242	4,084
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
事業費(千円)	3,463	3,463	0	0	0	0
関 連 事 項	特定財源の名称 ・妊婦健康検査支援事業補助金	【評価・実績】	(実施内容等) ・母子健康手帳の交付 34名 ・妊婦健診受診者数 延545名 ・乳幼児健診 年10回 延196名 受診率102% ・子育て講話等参加者218名 ・乳幼児相談・訪問 537名 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	98%	98%	98%	98%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	85%	0%	0%	0%
		全体達成率	17%	17%	17%	17%
		事業進捗状況	☆☆☆☆			

事業名	母子保健事業	評価者	管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田 通敏
		評価者	作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子育て中の保護者、児童	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	乳幼児健診受診率	
【抱える課題やニーズは】	児童が心身ともに健全に発達するとともに、保護者が育児に喜びや楽しみを感じ、自信をもって子育てを行うことができる	指標(指標計算式/解説)	目標年度	平成25年度
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	育児に喜びや楽しみを感じながら行うことができ、乳幼児期に健全な発達育を遂げることができる	① 各種乳幼児健診の平均受診率	目標値	99.5%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	育児に喜びや楽しみを感じながら行う保護者が増える 児童が健全な発達・育を遂げることができる		実績値	102%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	妊婦への支援	母子健康手帳・妊婦健診受診票の交付、子育て講話等の開催、家庭訪問等による面接・相談支援を行った	達成度	102.5%
	産婦・乳幼児への支援		訪問指導、乳幼児健診(3・4か月、9・10か月、1歳6か月、3歳、5歳)、乳幼児相談(6・7か月、2歳)、養育者支援関連事業(妊婦、新生児、3・4か月児健診時の児童虐待予防アセスメント及び個別支援)、子育て講話を実施した	
		② 3歳児健診受診者中、育児の支援者・相談者がある保護者の割合	目標年度	平成25年度
			目標値	100%
			実績値	100%
			達成度	100.0%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	妊産婦から乳幼児期の児童・保護者にとって、心身の変化が大きい時期であり、系統的に事業を実施することで、保護者の子育て支援の充実が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	健診や子育て講話等の事業への参加率は高く、個別の相談対応により課題の解決を図ることができた。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	事業内容を精査し、子育て支援センターや図書館など関係機関との連携により効率化を図るとともに、事業実施回数は増加しても効率的に事業を展開することができた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	受益者負担はないが、支援の必要性支援の必要性が高い妊娠期・乳幼児期の児童・保護者においては、経済的負担に関わらず公平に事業を利用できる体制が重要であると考えられる。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

Blank box for additional remarks.

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
子育て支援センター等関係機関との連携のもと、児童・保護者の健康増進と子育て支援に効果が表れていると考える。		

今後の展開方向(Action)

継続/現状維持		
子育て支援関係機関との連携により、生涯発達の基礎を形成する重要な時期に適切な支援を行えるよう留意して事業を継続する。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止